

【Iヨハネの手紙2章】

「キリストのうちにとどまっていなさい。」(2:28)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師: D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.11.10 No.762

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。
もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節



黄金門 再臨待望！

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>



私たちの教会が始まった当初、リーダーの牧師が神のことばに聞き従えるよう毎日毎日祈られていました。そのうちある姉妹が、「預言が来るのですが、語ってもいいですか?」と言われ、当時預言に対しては教会の混乱など悪いイメージがあったので、困ったな一と思われたそうですが、神に聞くとそれは聖書的であるからOKであると言われ、それから預言の動きが始まったそうです。

2004年から出エジプト記12:2の御言葉を通して、11月が新年度としてガリラヤ湖畔で新年礼拝が持たれています。毎年新年の御言葉が与えられてきましたが、私達の戦いはリバイバルと終末の教会形成に向かって「神の戦い」であり、「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって」なされることで、神のことばを頂いて、聞き従いの中で聖霊の力によってなされる事が語り続けられてきました。マーリン師を通して、どんなときにも「感謝と賛美」の真理が開かれ、信仰が強められてきました。その実は様々な所に現われて、神の言葉の成就をたくさん見てきました。更に戦いは激しくなる中で、今年は群れにピリピ書4:4から「いつも主にあって喜ぶ」事が与えられ、一人残らず喜ぶ決心をしましょうと導かれました。

この手紙が書かれたのは、「あなたがたが罪を犯さないようになるためです。」罪を犯したら聖い神様との交わりが断たれます。もし罪を犯したら、御父の前でその弁護をイエス様がしてください。イエス様は最高の弁護士であられ、慰め主・助け主です。悔い改めてイエス様と共に歩みましょう。

神を知っていながらその命令を守らない者は、偽り者であると言っています。その命令とは何でしょうか? マルコ12:28~31では、その命令とは 心を尽くして主なる神を愛する事と、自分を愛するように隣人を愛する事だと言っています。イエス様は私達の罪の為に死んで下さったのですが、全人類の為に(2節)死んで下さったのです。それは、私たちの愛する人々だけではなく、受け入れがたい人の為、憎いと思っている人、赦せないと考えている人を赦し受け入れましょう。その時に、真理の中、光の中を歩むことが出来ます。「すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。」「世と世の欲は滅び去ります。」これらの物に心が向いているならば、御父への愛はありません。

御父と御子イエス・キリストを否認する者が反キリストだと言っていますが、今、教会からヨーロッパにチームが派遣されていますが、ヨーロッパにその反キリストが立ち上がる地盤がどんどんできています。ヨーロッパははじめ世界の状況はどんどん終末に向かって変わってきています。世界に影響力を与えた人物もオバマ大統領から、プーチン大統領にそのトップの座が譲られ、今までは順位の中にも入らなかったローマ法王が第4位となっています。(み声新聞754号6面) シリア戦争は悲惨です。中東周辺国にも多くの問題があり、地震、災害は世界中毎日どこかで起こっています。不法がはびこり、愛がない故に醜いおぞましい事件が多発してきています。

毎日車に乗ったら、給油をしなければ車は動きません。私達も毎朝神様の前で愛満タン御言葉満タンにして一日を始めましょう。一人では信仰を守るのが大変ですが、教会に来て共に礼拝し、共に祈り合いましょう。この様な時代に生かされている私達は、神の光の中を歩み、暗闇に光を照らすためにも、キリストの内に留まり再臨の主を喜んでお迎えする備えをしてまいりましょう。それは、「キリストが現れるとき、私たちが信頼を持ち、その来臨のときに、御前で恥じ入るということのないためです。」

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。